

# 紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略【基本目標】評価シート

## ■基本目標1 地域資源を活かした魅力あるまち

数値目標	策定時の値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	達成率 (H28)	目標値 (H31)	総合戦略審議会 評価 <del>-(案)-</del>
社会増加数(人)	▲ 176	▲ 352	▲ 398	-226.1%	0	総合戦略に地域資源の核として掲げている「フルーツ」「近畿大学生物理工学部」との連携を、更に多方面へ波及する必要がある。特に近畿大学 生物理工学部が有する技術力を活用し、連携を加速化させて頂きたい。
観光人口(万人)	188.1	185.6	180.8	82.2%	220.0	

基本的方向・具体的施策	重要業績評価指数 (KPI)	策定時の値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	達成率 (H28)	目標値 (H31)	取り組み状況をふまえた今後の方針
1.フルーツを核とした地域ブランド化							「フルーツのまち」としてのイメージは発信できているが、魅力度や認知度など本来、到達させたい付加価値的な要素を訴求するために、フルーツ・ツーリズムを更に推進します。
1.フルーツのまちとしてのイメージアップ	紀の川市ファンクラブ会員数(人)	-	150	1,363	45.4%	3,000	
	フルーツを活かしたメニューを扱う飲食店数(件)	10	30	31	62.0%	50	
	地域ブランド調査による魅力度順位(位)	458	276	652	30.7%	200	
2.近畿大学生物理工学部との連携							総合戦略の核として位置づけている「近畿大学 生物理工学部」と、地域ブランド並びに産業技術での分野を重点に連携の可能性を探るための協議を開始します。
1.包括協定締結による総合的な連携の推進	共催事業への市民参加者数(人)	345	500	343	57.2%	600	
	連携による新規プロジェクト数(件/累計)	-	0	1	10.0%	10	
3.移住定住の促進							遊休資源である「空き家」を活用した事業は、人口減少を直接的に抑制する数少ない事業のひとつであるので、更に加速化させ、若い世代から定住先として選ばれる支援策を講じます。また移住者が就農・創業が望める環境を整備します。
1.情報発信と受入体制整備	ワンストップ窓口を活用した移住相談件数(件)	-	0	14	46.7%	30	
	ワンストップ窓口を活用した移住者数(人)	-	0	0	0.0%	24	
	地域おこし協力隊員数(人)	-	1	2	40.0%	5	
4.地域資源の連携（既存資源のブラッシュアップ）							・シティプロモーション戦略においてターゲット化した大阪府内の都市圏女性に、紀の川市の多彩な地域資源を訴求し認知力を高めるプロモーションを展開します。 ・「貴志駅前(DMO)」「道の駅 青洲の里」が交流拠点となり市内周遊型の観光ビジネスを展開します。
1.戦略的PRの展開 2.交流プログラムの構築 3.観光基盤の整備	観光協会ホームページアクセス数(件/日)	75	160	216	144.0%	150	
	新しい観光ルートの構築件数(累計/件)	-	0	0	0.0%	5	
	ふるさと納税による寄附件数(件)	11	1,527	3,731	266.5%	1,400	
	外国人観光客数(人)	42,834	50,200	45,488	85.0%	53,540	

紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略【基本目標】評価シート

■基本目標2 魅力ある仕事・職場のあるまち

数値目標	策定時の値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	達成率 (H28)	目標値 (H31)	総合戦略審議会 評価(案)
農家数(戸)	4,027	4,028	4,028	111.3%	3,620	・農業の安定的な継業を図るため、専業農家だけでなく兼業農家を はじめ高齢者農家の育成・支援に取り組み、担い手と新規就農者 を確保する必要がある。
事業所単位の従業者数(人)	19,475	18,828	<b>18,828</b>	96.7%	19,475	・将来性ある販路への開拓は着手できているが、拡大の可能性と消 費者ニーズに合致した産地形成を目指し農家全体の所得向上を 実現させる必要がある。
市内事業所数(事業所)	2,363	2,297	<b>2,297</b>	97.3%	2,360	・商工業は行政が主体性をもち、強い推進力で活性化策を早急に 講じる必要がある。

基本的方向・具体的施策	重要業績評価指数 (KPI)	策定時の値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	達成率 (H28)	目標値 (H31)	取り組み状況をふまえた今後の方針
1.魅力ある農業の実現							
1.農業経営基盤の強化 2.フルーツの産地としての競争力強化 3.人材育成・担い手育成	認定農業者数(人)	325	333	329	86.6%	380	・市民意識調査から「後継者確保・担い手不足」の解消が喫緊の 課題とあらわれているので、専業農家に限らず、兼業農家への支援 策も検討します。 ・有害鳥獣対策は即効性が高い防護策の設置に取り組みます。 ・利益性を重視した6次産業化を推進し働く場の拡大を進めます。
	認定新規就農者数(人)	8	20	30	66.7%	45	
2.地域イノベーションによる産業活性化・雇用創出							
1.市内企業の振興・活性化 2.市内起業・商店・事業所の未来を担 う人材の確保	製造品出荷額(百万円)	120,932	105,645	<b>105,645</b>	72.8%	145,118	低迷している市内産業の活性化を促進するために、企業間連携に よる新商品開発・技術提携など相乗効果とイノベーションを図り、競 争力を強化します。
	市内高校新卒者の地元就職率(%)	13.7	18.1	<b>18.1</b>	90.5%	20	
3.新たな企業(起業)の創出							
1.地域特性・資源にあった企業誘致 2.起業・創業支援	誘致企業数(累計/件)	5	0	2	40.0%	5	・北勢田第2工業団地の年度内完売を目指します。 ・各商工会と連携し創業起業を希望する方への支援に取り組みま す。
	創業支援件数(件)	-	3	0	0.0%	15	

# 紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略【基本目標】評価シート

## ■基本目標3 若い世代から選ばれるまち

数値目標	策定時の値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	達成率 (H28)	目標値 (H31)	総合戦略審議会 評価 <del>(案)</del>
合計特殊出生率(%)	1.20	1.20	1.20	77.9%	1.54	・子育てに関する相談窓口の一元化を早期に開設し、効果的な運用と推進を図って頂きたい。
地域における子育ての環境や支援への満足度が高い割合【就学前児童】(%)	22.7	22.7	22.7	81.9%	27.7	・不登校児童・学力に関しては現状を分析する材料が不足している ので、定常的に課題を抽出し・検証した上で効果的な事業設計、 拡充を検討して頂きたい。
地域における子育ての環境や支援への満足度が高い割合【就学児童】(%)	16.1	16.1	16.1	76.3%	21.1	

基本的方向・具体的施策	重要業績評価指数 (KPI)	策定時の値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	達成率 (H28)	目標値 (H31)	取り組み状況をふまえた今後の方針
1. 出会いから子育てまでの切れ目のない支援							
1. 出会い・結婚支援	出会いの場創出によるカップル成立数(組)	15	6	4	13.3%	30	産前産後のケアを充実させるため、子育て情報提供や虐待発生子 防に関する相談窓口として子育て世代包括支援センターを開設し ます。
	希望する子ども数をかなえられた人の割合(%)	33.4	33.4	33.4	83.5%	40.0	
	子育て支援事業の利用度の割合【就学前児童】(%)	17.7	17.7	17.7	95.7%	18.5	
	子育て支援事業の利用度の割合【就学児童】(%)	19.0	19.0	19.0	95.5%	19.9	
2. 教育環境の充実							
1. 特色ある学校教育の実践 2. シビック・プライド	学校に行くのが楽しいといえる児童・生徒の割合(%)	87.7	87.2	86.9	96.6%	90.0	具体的施策を構成する各事業の達成度は高いが、市内小学校に おける不登校児童の高出現率や、学力調査結果にみられる基礎 学力の低下に対する、正鵠な事業設計、拡充を検討します。
	地域や社会を良くすることを考えている児童・生徒の割合(%)	31.9	34.3	34.3	85.8%	40.0	
3. 住環境の充実							
1. 働きやすく暮らしやすい環境づくり	紀の川市を住みよいと感じている人の割合(%)	74.4	74.4	74.4	93.0%	80.0	・結婚新生活支援補助など住んでもらうきっかけづくりに取り組みま す。 ・企業誘致に起因する雇用と定住を促進する経済的支援を検討し ます。
	20歳から39歳の社会増加数(人)	▲ 180	▲ 258	▲ 338	-187.8%	0	

# 紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略【基本目標】評価シート

## ■基本目標4 安全安心で暮らし続けたいまち

数値目標	策定時の値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	達成率 (H28)	目標値 (H31)	総合戦略審議会 評価(案)
紀の川市に暮らし続けたいと思う市民の割合(%)	76.7	76.7	76.7	95.9%	80.0	比較的、達成率が高い事業構成になっているが市民意識調査を定期的実施し、常にニーズが反映された事業設計を目指して下さい。またニーズが低い事業・満足度が高い事業に関しては縮小・廃止などの検討も図り優先的に取り組むべき事業を推進して頂きたい。
住民基本台帳人口(人)	65,759	65,008	64,129	99.9%	64,180	

基本的方向・具体的施策	重要業績評価指数 (KPI)	策定時の値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	達成率 (H28)	目標値 (H31)	取り組み状況をふまえた今後の方針
1.安全なまちづくり (防犯・防災対策)							
1.地域防犯力の向上 2.「自助・共助・公助」による災害対応力の強化	犯罪率(%)	8.62	7.07	5.46	146.5%	8.00	・子供や高齢者を狙った犯罪等に対して学校や地域、行政、警察が連携して地域全体を監視し、安全を見守る体制を強化します。  ・自然災害に対する十分な予防対策にむけて平時から市民1人ひとりの防災意識を高めるとともに、地域ぐるみで災害に対処できる自主防災体制づくりを進めます。
	自主防災組織の組織率(%)	59.3	61.1	63.1	63.1%	100.0	
2.安心なまちづくり (医療・健康・福祉・コミュニティ対策)							
1.健康寿命の延伸 2.「絆・思いやりのあるまち」づくり	健康寿命の延伸【男】(歳)	77.07	78.44	78.44	100.5%	78.07	・自治会加入率を維持し、自治振興とコミュニティ活動を推進します。  ・若年層への乳がん予防啓発と健診を推進します。
	健康寿命の延伸【女】(歳)	81.73	83.28	83.28	100.7%	82.73	
	自治会加入率(%)	78.6	78.0	76.4	95.5%	80.0	
3.計画的なまちづくり (利便なまちづくり)							
1.京奈和関空連絡道路整備によるまちづくりの推進 2.公共交通の充実 3.生活インフラ整備	公共交通利用者数(人)	2,409,422	2,464,005	2,343,312	87.7%	2,672,000	京奈和関空連絡道路早期開通にむけたプロモーションや、まちづくりの基本となる土地利用の規制と誘導を進め、それに連動する公共交通網を形成し、長期的観点をもった効率的かつ計画的なまちづくりへの協議をすすめます。
	歩道等設置道路延長【市道】(m)	33,947	33,944	34,085	96.1%	35,470	